

田んぼ復活

プロジェクト

豊かな自然、生きものの多様性をまもろう！

(公社)大阪自然環境保全協会(ネイチャーおおさか)と(NPO)大阪府民環境会議(OPEN)は、放置・激減している水田などの農空間・生物多様性(生きものにぎわい・恵み)を保全しようと、お米より手間のかからないマコモを耕作することで田んぼの復活に取り組んでいます。

——マコモダケを食し 葉っぱはお茶などの製品に——

田んぼを維持する取り組みは 農の支援・生物多様性保全に貢献します。

活動メンバー

マコモ耕作に取り組んでいるのは、農や食・生きものに関心のあるメンバーでつくる“チーム農力隊”。OPENとネイチャーおおさかが協働し、市民がより主体的にかかわる耕作放棄地・生物多様性の保全活動を広げようと活動しています。



活動場所

大阪府茨木市泉原の水田をお借りして、ここを母田(ぼでん)として耕作・収穫しています。また、マコモの株分けをすることにより、各地にマコモ耕作・田んぼ復活の取り組みを広げています。



年間活動スケジュール

(4月)

田植え・株分け

(7~8月)

草刈など・葉の収穫

(9~10月)

マコモダケ収穫・普及

月 1~2回ほどの頻度で活動しています。随時、参加者を募集しているので、一度活動に参加してみたい!という方は、お気軽にご連絡ください!!

(連絡先) ネイチャーおおさか TEL=080-5364-0085

マコモ(マコモダケ)とは？

マコモは池や河川で見られる在来イネ科の多年草です。黒穂菌(くろぼきん)により茎が肥大したものをマコモダケと言います。耕作の手間は少なく、収穫までに水田に出向くのは4・5回程度でもいいほど。農家にも市民の農・保全活動にも適しています。

マコモダケはたんぱくな甘みが好まれ、高級食材として天ぷら、きんぴら、中華の具材、素焼きなどと多様に食されます。収穫は9月下旬～10月中下旬ごろ。100g100～200円ほどで販売されています。マコモの葉も、お茶や枕、すだれなど活用方法は多様。浄化作用があり、水通りにマコモを植えるといいお米が育ち、抗酸化作用、解毒作用もあるとされ、健康食品としても注目されています。



マコモ製品紹介



まこも茶

夏の日差しをたっぷり受けた深緑のまこも葉を刈り取り乾燥・焙煎させたまこも茶。ほうじ茶のような香りと後口に残るまこも特有のほのかな甘みで非常に飲みやすいです。デトックス作用が期待されているため、余分なものを出しからだをすっきりさせたい方におすすめです。中浅煎りのため、煮出すかポットの場合は蒸らし時間をしっかりとってお召し上がりください。

まこもオイル

ホホバオイル+アルガンオイル(ともにオーガニック)にまこも葉を浸けこんだまこもの成分を抽出したインフューズドオイル。オイルの高い保湿力とまこもの抗酸化作用で乾燥肌や敏感肌の方にもお使いいただけます。



まこも石鹸

加工時に極大熱を加えない『コールドプロセス製法』のため、油や有効成分が酸化や変質しにくい。デリケートなお肌でも使っていただきやすいです。界面活性剤や香料・着色料等も使わず手作りしています。

まこもクリーム

まこもオイルを蜜蝋(長崎産 抗生剤等不使用 非精製)でクリーム状にしています。まこもオイルの保湿力にあわせて蜜蝋の抗菌力があり、塗りやすく使いやすいです。



OPENより 寄付のお願い(農力隊支援)

農空間保全活動は、マコモの世話があまり要らないため、都会の市民が参加できるのが特徴です。しかし、田んぼの維持にも経費がかかるため、市民の皆様に寄付をお願いしています。

寄付の手続き

ご寄付いただける場合は、以下の口座にお振り込みいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【お振込口座】

ゆうちょ銀行 00950-1-269642

大阪府民環境会議

(※住所氏名と通信欄にマコモ寄付とご記入ください)

【その他 お問い合わせ先(メールでお願いします)】

特定非営利活動法人大阪府民環境会議

〒532-0013 大阪市淀川区木川西1-4-20

電話:06-6195-9856 メール:office@npo-open.org

寄付額によってマコモ製品をお礼としてお送りいたします。(マコモダケの収穫時期にはマコモダケも)

1000円	まこも茶を進呈
2000円	まこも茶+まこもオイルを進呈
4000円	まこも茶+まこもクリーム+まこもオイルを進呈
5000円	まこも茶+まこもクリーム、 +まこもオイル+マコモ石鹸を進呈